

# 大分県南部圏地域公共交通計画の概要

## 計画の目的

令和3年度における本県内の国庫補助対象地域間幹線バス路線は3社10系統あるが、対象地域の南部圏においては、国庫補助対象地域間幹線バス路線は3系統運行している。(伯大線、青山経由蒲江線、畑野浦経由蒲江線)

対象地域のバス路線では、マイカーの普及や少子化・過疎化の進行等を背景に利用者の減少が続いており、対象地域内の各市町では、地域公共交通網形成計画や地域公共交通再編実施計画を策定する等して、域内の地域公共交通の維持・確保・改善に向けた取り組みを行っている。しかしながら、幹線バス路線については、市町が路線全体の運行スケジュールやルートの見直しを検討することが困難であることから、市町による主体的な対応が難しく、交通事業者による取組みに委ねられている実情があるため、幹線バス路線の維持・確保・改善に向けた公共交通網の構築を目指す。

## 計画の対象区域

佐伯市、津久見市の2市を対象地域とする。

<基礎データ>

人口：87,876人（令和2年1月1日現在） / 面積：982.59平方キロメートル  
高齢化率：40.8% / 過疎地域等指定：過疎、山村等

## 計画期間

令和3年10月～令和8年9月（5年間）

## 大分県南部圏の公共交通網の将来像



## 基本的な方針

市町村との連携のもとで、大分県の生活や経済活動の基盤を支える公共交通ネットワークの構築

## 計画の目標

- 目標① 広域移動を担う公共交通ネットワークの利便性向上
- 目標② 変化する移動ニーズに対応した輸送資源の最適化
- 目標③ 利用者・事業者・自治体協働による持続性の向上

数値指標		現状値(R2)	目標値(R7)
目標①	公共交通利用者数の維持		
	乗合バスの年間輸送人員	278千人	250千人
目標②	交通不便地域の縮小		
	公共交通人口カバー率	88%	90%
目標③	公共交通事業の収益性の維持		
	利用者1人あたり財政負担額	532円/人	530円/人
目標④	輸送資源全体の最適化の推進		
	人口1人あたり公的輸送資源に係る財政負担額	2,667円/人	2,660円/人
目標⑤	居住者の公共交通利用率の向上		
	居住者の公共交通利用率	5.7%	6.0%

## 実施事業

実施事業	
目標①	地域間路線・地域内路線による持続的な公共交通ネットワーク構築
	圏域内の全公共交通路線について、路線の果たすべき役割を再設定
目標②	新技術を活用した効率性と利便性の両立の推進
	次世代モビリティサービスの導入促進
目標③	輸送資源の総動員と最適化
	サービスの競合する路線における役割の整理
目標④	移動ニーズにあった路線やダイヤの改善
	移動ニーズを考慮した路線変更・新設、ダイヤ変更
目標⑤	新たな利用者の獲得に向けた情報提供の改善
	公共交通のオープンデータ化の推進
目標⑥	移動サービス相互の連携強化
	幹線と枝線との運行ダイヤの連携
目標⑦	公共交通の維持に向けた支援
	路線バス・タクシー運転手の確保
目標⑧	路線の維持に対する沿線自治体の支援
	運賃負担に対する公平性の確保
目標⑨	新たな運賃体系の導入